

2009年6月4日

各位

旭化成株式会社

中期経営計画『Growth Action – 2010』の進捗状況と見直しについて

当社グループは2006年度より、2010年度を最終年度とする中期経営計画『Growth Action – 2010』を実行しています。3年目である2008年度は、世界同時不況の影響を強く受けたことから経営環境が激変し、減収、大幅な減益となりました。そこで、中期経営計画の見直しを行い、2010年度の計数目標を修正しました。

1. 中期経営計画『Growth Action – 2010』の進捗状況

『Growth Action – 2010』では、「グローバル型事業の拡大」と「国内型事業の高度化」を戦略の柱として、拡大・成長へ向け事業ポートフォリオの転換を目指すことをコンセプトとしています。2008年度は、世界同時不況の影響を強く受け、減収、大幅な減益となりました。この経営環境の激変により、2009年度の業績予想も、売上・利益ともに計画よりも大幅に減少せざるを得ないことから、今回、2010年度の計数見通しを、売上高1兆3,500億円～1兆5,000億円、営業利益600億円～800億円の水準に見直しました。

〈連結計数目標〉	2005年度実績	2007年度実績	2008年度実績	2010年当初目標	2010年度修正目標
売上高	14,986億円	16,968億円	15,531億円	18,000億円	13,500億円～15,000億円
営業利益	1,087億円	1,277億円	350億円	1,500億円	600～800億円
当期純利益	597億円	699億円	47億円	800億円	

2. 設備投資計画の見直し

『Growth Action – 2010』では、当初、通常投資や増配原資に加え、ケミカル事業のモノマー分野と高機能分野、エレクトロニクス事業及び医療事業の4分野を中心としたM&Aを含めた戦略的な投資を行い、5年間で総額8,000億円の投資を予定しておりました。しかし、今回の見直しに伴い、汎用系事業の拡大投資は当面の間凍結し、高成長追求事業への投資についても、事業の状況を考慮しながら慎重に進めていきます。これにより、2010年度までの総投資額を1,300億円減額の6,700億円とし、D/Eレシオを0.5以下に保つことで競争力ある資金調達力の確保を図っていきます。

3. 目指す企業像

本年度以降、『Growth Action – 2010』の施策を着実に実行に移すとともに、将来の旭化成グループを見据えた事業ポートフォリオの転換を進めていきます。具体的には、2005年度には営業利益の半分をケミカル事業・繊維事業が占めていた事業ポートフォリオから、2015年には、エレクトロニクス事業と医薬・医療事業が全体の営業利益の半分以上を占める事業ポートフォリオへの転換を図り、資源の高騰問題、環境問題に対応した、スピーディーで筋肉質な企業を目指していきます。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

旭化成株式会社 広報室 TEL：03-3296-3008